

第3次健康日本21かりや計画（案）

募集期間 12月2日～1月6日 提出件数 7件

健康推進課（☎23-9559）

意見

「ソーシャル・キャピタルの醸成」の方向性は、本計画の施策だけでなく、地域福祉計画にもぜひ取り入れ、「街の居場所づくり」をさまざまなステークホルダーで支えるようなエリアネットワークづくりをしてほしい。

市の考え方

健康の実現には、個人の取組に加えて、社会環境も重要であるといわれています。本計画においては、国の基本的な方針や推進委員会でのご意見も踏まえ、地域における居場所づくりの推進や市民活動への支援などの社会環境の整備が重要であるとの認識のもと、ソーシャル・キャピタルの醸成を図り、心身ともに健康的な暮らしができるような取組を進めてまいります。

意見

大きな公園だけでなく、小さい公園ほど、健康遊具があるとウォーキングしながら、関わられるようになると思うので、積極的に進めてほしい。また、「賑わい」をテーマにした公園づくりだけでなく、市民の憩いや精神的なリフレッシュのために、市民の意見を取り入れて運営してほしい。

市の考え方

本計画では、全体目標である「健康寿命の延伸」を目指して、年代や性別、障害の有無などにかかわらず、市民の誰もが気軽に健康づくりに取り組めるよう、「自然に健康になれる環境づくりを進める」を個別目標として設定しております。この目標達成に向けて、指標であるウォーキングコースやインクルーシブ遊具の設置をはじめ、新たに整備する身近な公園において、市民の意見を反映して健康遊具を設置するなど、公園施設の充実に取り組んでまいります。

刈谷市こども計画（案）

募集期間 12月2日～1月6日 提出件数 8件

子育て推進課（☎62-1061）

計画本冊への意見

乳児園を増やすのではなく、0～5歳が入れる保育園を増やしてほしいです。乳児園だと慣れ親しんだ園を離れて、また新たな環境で過ごさなければならず、親子共に新たな環境への不安が大きくなります。一貫して通えるところが増えればその心配はなく、安心した環境で保育を受けることができます。また、新たな園を探すのも大変な上に、入りたい園に希望通り入れることは難しいです。

市の考え方

0～2歳児の保育ニーズは増加傾向にあり、乳児園化などの施策によって、一時期は待機児童をゼロとすることができましたが、令和6年度は1歳児で再び待機児童が発生しました。一方で、3～5歳児の受入体制については、今後も充足が見込まれる状況です。そのため、今後も公立保育園の乳児園化や保育園の新設により、0～2歳児の受入人数を拡充する必要があります。園探しについては、乳児園から幼児園への進級を確実にできる体制を整えるなど負担と不安の解消を図っています。

こども向け概要版への意見

こどもや若者が社会参加することが大切とありますが、社会参加の例がほしいと思いました。また、それぞれの家庭環境によってこどもの人間関係を心配しちゃう考えを直してほしいと思います。親のレベルアップも大切！

市の考え方

ご意見を踏まえまして、社会参加の例を追加いたします。また、親のレベルアップも大切であるというご意見については、家庭環境（家族構成や経済状況など）を理由に大人が偏見を持つことについて、考えを改めるべきということであると受け止めました。刈谷市こども計画では、こどもたちの権利が尊重される社会を目指して「こども・若者の権利の尊重」という基本目標を定めています。計画の趣旨が市民に浸透するように努めてまいります。

第2次刈谷市企業立地推進ビジョン（案）

募集期間 12月2日～1月6日 提出件数 1件

企業立地推進室（☎91-1255）

意見

優良農地は農振法により解除条件があるので、工業団地開発に関わる全ての人に農振法を説明する必要があるのではないかと（地権者、マスタープラン作成の関係者、JA、営農組合代表者、工業団地決定会議に参加し、案件に関わった全ての関係者）。

市の考え方

開発を行う際には、地権者、周辺地区に居住する方々、またJAをはじめ、営農関係者の皆さんに対し、説明会を開催し、周知に努めております。今後とも、農振法をはじめとした関係法規の周知に努め、皆さんのご理解をいただきながら事業を進めてまいります。

第3次刈谷市環境基本計画（案）

募集期間 12月2日～1月6日 提出件数 0件

環境推進課（☎62-1017）

第4次刈谷市生涯学習推進計画（案）

募集期間 12月2日～1月6日 提出件数 0件

生涯学習課（☎62-1036）

パブリックコメント手続制度による意見募集の結果公表

1020015

提出された意見・提案の概要と市の考え方で主なものを公表します。提出された意見と市の考え方は、市HP、市役所情報コーナー、各担当課、市民交流センター、各市民センター、各生涯学習センター、総合文化センター、各図書館、生きがいセンター、高齢者福祉センターひまわり、一ツ木福祉センターで見ることができます。意見・提案をいただき、ありがとうございました。

刈谷市立地適正化計画（案）

募集期間 9月17日～10月16日 提出件数 1件

まちづくり推進課（☎62-1022）

意見

昨今、刈谷駅や刈谷市駅付近ではマンション建設が複数、実行や予定がなされ、住宅供給は大幅に増加すると思われませんが、保育園や児童クラブなど子育て世代が生活に必要な施設が不足されることが予想されるのではないのでしょうか。誘導施設として、子育て支援センターや児童館以外に保育園の機能についても誘導していくようであれば子育て世代の転出は減少しないのではないのでしょうか。

市の考え方

誘導施設とは都市機能誘導区域に誘導すべき都市機能増進施設であり、本計画では国の考えに基づき都市拠点・地域拠点に誘導することが想定される広域的な機能を誘導施設として設定していることから、日常生活に必要な機能に分類している保育園の機能は誘導施設に設定しておりません。しかしながら、ご指摘のとおり刈谷駅、刈谷市駅周辺においてマンションの立地が進んでおり、子育て世代が生活に必要な施設の需要が高まることが推測されます。そのため、本計画に記載した子育て支援に関する施策や、刈谷駅、刈谷市駅周辺をはじめとした市全域において、需要を把握しながら効果的かつ計画的な保育園の整備などを推進します。

刈谷市水道事業経営戦略（令和6年度改定）（案）

募集期間 11月15日～12月16日 提出件数 0件

水道課（☎62-1028）

刈谷市下水道事業経営戦略（令和6年度改定）（案）

募集期間 11月15日～12月16日 提出件数 1件

下水道課（☎62-1029）

意見

下水道未整備地区への整備計画について全く触れていません。整備を待っている地域の方々へ明確に計画を提示すべきと考えます。合併浄化槽は負担が大きいので下水道整備の拡大を希望します。

市の考え方

経営戦略改定案の32ページに、下水道が未整備の市街化調整区域については、採算性や地域性を考慮し、整備効果が見込まれる区域の整備を優先し、その他の区域については整備のあり方を検討することを示しております。また、市街化区域の下水道整備は、土地の利用状況や地形的な制約などから整備が完了していない区域については、未整備区域の状況の進展に合わせて、整備手法や進め方などを検討することとしております。なお、能登半島地震を受け、汚水処理における災害からの復旧・復興の面では、合併浄化槽の活用も検討されております。今後の下水道整備のあり方の検討に当たっては、そのような観点も考慮しながら、将来に向けて本市の特性を踏まえた最適な汚水処理方法のあり方を構築してまいります。

第5次刈谷市地域福祉計画（案）

募集期間 12月2日～1月6日 提出件数 3件

福祉総務課（☎62-1012）

意見

「自治会加入者の減少」「自治会の解散」などが言われているが、それについての言及がない。

市の考え方

近隣関係の希薄化が「自治会加入者の減少」の一因になっていると認識しており、本計画において「地域住民のつながりづくり、地域の絆の再生」を課題に挙げています。それに対する施策として基本目標の1つに「地域福祉活動の推進」を掲げており、地域福祉活動の支援、見守り活動の推進、集いの場の充実などを通じて、地域のつながりづくりや絆の再生を進められるよう、地域コミュニティの活性化を図ってまいります。

意見

保護司会や更生保護女性会の活動について、市民に向けて紹介してほしい。

市の考え方

保護司会および更生保護女性会は、犯罪や非行をした人の立ち直りの支援、地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動などを行う民間のボランティア団体であり、本市ホームページで周知を図っております。今後も保護司会および更生保護女性会の取組について情報発信の継続・拡充を目指してまいります。